

堀川同窓会報

HORIKAWA ALUMNI ASSOCIATION JOURNAL

第4号



「新天地、二条城東を音楽・芸術文化の発信拠点に」

長年住み慣れた自然豊かな沓掛の地から、京都の中心街二条城東側に移転し、京都堀川音楽高等学校と改称し、新たな歴史の一ページを刻み始めました。新校舎は以前と比べ広さが約3倍になり、最新鋭の施設・設備を備えた音楽を学ぶものにとって最高の環境となりました。主な施設として300名収容の音楽ホール、大小合わせて35室のレッスン室、最大700名が収容できる可動式客席を備えた城巽アリーナ（体育館）、別棟に堀川御池ギャラリーなどがあります。この4月以降、新しい環境の中で未知との遭遇に戸惑いながら少しずつ新しいルールを整え教育活動を進めてまいりました。生徒達は、朝7時半からレッスン室確保のために登校し、放課後は7時の延長終了まで熱心に専門実技練習や学業に励んでいます。昭和23年堀川高等学校音楽過程として設立されて以来、脈々と受け継がれてきた音楽を専門とする学科の歴史と伝統の重みをしっかり受止め、この新天地に新たな音楽文化を創生し、未来に発信してくれるものと確信しています。

去る11月3日、地元と本校が中心となり移転記念事業として「城巽音楽フェスティバル2010」を開催いたしました。第1部は東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校と本校の合同オーケストラを本校卒業生佐渡裕氏によるレクチャーコンサート、第2部は両校交流コンサート、第3部は地元のコーラス、京都子どもの音楽教室、京都市少年合唱団の発表をホールで行い、入りきれなかった来場者には隣の城巽アリーナでスクリーンの映像を通して鑑賞していただきました。また、和室ではお茶席が開かれ、グラウンドでは自治連合会による模擬店が出店されるなど文字通り地域ぐるみ的一大イベントとなりました。今回の移転を通して、市民の皆様からの本校に対する大きな期待を実感しました。京都市が標榜する「芸術文化創生都市」を推進するため、本校が音楽・芸術文化の発信拠点となるよう取り組みを進めて参りたいと思います。

私は、平成3年から17年までの14年間堀川高校に勤務していました。堀川が大きく変わる激動の時期を過ごさせていただいたことが、その後の教員生活の大きな財産となりました。それぞれ教育目標を明確にもった、堀川通りに面した2つの高校が良きパートナーとして今後も仲良く発展することを期待しています。クラシック音楽ファンの皆様には本校ホールでのコンサートにご来場いただきますよう心よりお待ち申し上げます。



京都市立京都堀川
音楽高等学校校長
大江 加津雄

「守るべきもの」

私は自分の人生のほぼ半分を日本の文化とかがわって来ました。

OLをしたり女優さんになったり、人生、迷いながら結局は、実家の仕事を継ぐべく再び京都へ帰って来ました。

私は堀川高校三年生の時、美容師の国家試験を取っていたので帰るべき場所があったのです。

母は美容室をしながらスタイリストとして私のずっと前をあるいていました。

母の仕事を手伝いながら多くのことを学びました。

やがて全国のデパートできもの教室をするようになり、それがテレビ出演につながりました。

関西テレビ発の全国ネット「ハイ土曜日です」。昭和四十二年のことです。

それまでテレビで着付けのプロセスや帯結びのプロセスを紹介することは無かったので、ディレクターと相談しながら番組を作ってゆきました。お客様の質問はそのまま私の成長につながりました。

「引箔って何ですか?」「絞っていつ頃からあるのですか?」「どうして留袖っていうんですか?」「どうして喪服は黒なのですか?」

着付けの技術はあってもお客様の質問に答えなければいけません。

平安神宮の前の府立図書館が私の勉強部屋になりました。勉強しはじめると服飾史や工芸はとても面白く、私の好奇心と相まってますます仕事の範囲はひろがってゆきました。

地球上にはいろいろな染織工芸があります。

初めてヨーロッパへ行ったのは一九六八年。百ヶ国以上の国をめぐりコレクションは民族服、四五〇セットにのぼります。

地球上の六十億の人々にはそれぞれの民族に固有の文化があります。

日本には世界に誇るべき伝統文化があります。特に京都には祇園祭、葵祭など千年を越す祭や、伝統行事があります。

お宮まいり、七五三、成人式、結婚式、葬式などそのルーツは源氏物語に見ることが出来ます。

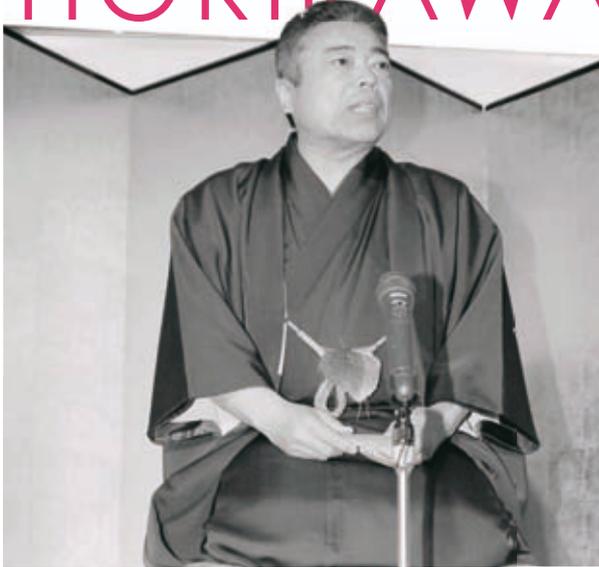
束帯や十二単衣の天皇家の礼服はなんと千年前からその形がつづいているのです。

世界中のロイヤルコスチュームで千年以上形が変わらないロイヤルコスチュームを持っているのは、日本だけです。きわめて珍しいことです。こわすのは一瞬です。日本の文化はこれからも守りつづけてほしいと思います。



同窓会会長
市田ひろみ
(高校第3期卒)

HORIKAWA



高校第25期卒 長谷川ユリ

■102回目堀川高校同窓会の第1部は、第25期卒業生落語家、桂都丸氏の落語会で賑やかに始まりました。都丸氏は昨年8月に4代目桂塩鯛を襲名。都丸の名前でこの同窓会に登場されるのは最後の高座となりました。都丸氏の師匠、桂ごこば氏のごこばは、雑魚場、魚市場を意味しており、「そんなら塩鯛がええ！」と、桂米朝師匠の鶴の一声で決まったとか、襲名にまつわるエピソードの数々が披露されました。そして高校の同窓会とあって、勉強ネタ。「中国語で蚊のことは、チースーといひます」「韓国語でお風呂のことなんていうかご存知ですか？ノボセヨ、て言うんですよ…」「大阪弁とイタリア語は似てますね。大阪で車が渋滞すると、イッターリーナー！マッターリーナー！て聞くでしょ！」「文化の香りのするフランス語は京都弁と似てますな。行くノン。来るノンて…」等々。大笑いのことばの教室の後に、いよいよの落語のお題は「宿題」桂三枝作の創作落語が始まりました。主人公の父親が、小学生の息子の算数の宿題、鶴亀算や時速の問題に、とんちんかんな回答を出したり、会社のエリート後輩の助けを借りたり。悪戦苦闘の挙句、息子の塾の先生に「君のお父さんの実力が分かりました」と落ちがつく愉快なお話を、都丸さんの熱演で会場が大いに沸きました。

第2部は同窓会から出される堀川賞に選ばれた3人の高校生の賞状賞金が、同窓会副会長 林道子氏から手渡され、私達の目標とする米田元校長先生、第21期卒業生で京都市長の門川大作氏、堀川音楽高校同窓会長 中谷幸治氏のご挨拶がありました。最後に第6期卒業生であり、北朝鮮拉致被害者横田めぐみさんの母、横田早紀江さんを支援する会の同級生中村喜代治氏より会の活動報告や、更なる支援を同窓会に訴えられました。

次回もますます楽しい同窓会になるはず！今年これなかった方も、これた方も是非足をお運びください！



堀川高校同窓会員の皆様へ～ご報告とお礼～

元堀音同窓会会長 中谷幸治

■早春の候、堀川高校同窓会員の皆様には、お健やかに過ごしのことと存じ上げます。元音楽科同窓会「堀音」を代表して、紙面をお借りしお礼を申し上げたく思います。

敗戦直後の昭和21年から、京都市の音楽関係者たちが、東京を中心とする芸術文化の中央集権を打破しようとの志の下、公立音楽高校の設立を目指して請願運動を始められました。その主力となられたのが、故上村けい先生、故中原都男先生たちだったと思います。また、それと志を同じくされた当時の視学官 故諸井三郎氏が、窓から人が出入りし、ヤミ物資積み込みのためガラス窓が無いに等しい三等列車に新聞紙を敷いて座り込み、月に2回東京から京都に通われたと聞きます。それら関係者の大変なご努力の結果、昭和23年にアメリカ軍政部から堀川高校4課程のひとつとして、音楽科の設立が許可されました。しかし予算のめどが立たない中、当時の日本クロス社長 坂部三次氏が5台のピアノを寄付くださったことで、ようやく京都市立堀川高校4課程が始まったのです。校舎は本校とは別であり、生徒たちは、入学式、卒業式、文化祭などに参加することが続きました。やがて全国で初めての公立音楽専門高校として独立し、西京区大枝沓掛の地で13年を経た後、市の中心部堀川御池で世界に誇る素晴らしいホールと校舎が新築され、名称も「京都市立京都堀川音楽高校」と改定されて、昨年4月に開校しました。それから早一年が過ぎようとしています。



この新しい名称の改定につきましては、元本校であった堀川高校同窓会会長の市田ひろみ様をはじめ役員の皆様が、強いご意志と行動力で京都市に働きかけてくださり、ご支援くださいましたことに厚くお礼申し上げます。役員会にお邪魔した折、「身内やと思っているから」と言ってくくださった言葉を今も胸に刻んでおります。そして20年間本校にご在職され、100歳でお元気な米田貞一郎先生にも心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。その他思いがけない出会いや偶然も幸いして、困難と思われたことが良い方向へと進んで行ったことは、音楽科設立のために力を尽くされた故先生方の御心が動いていたとしか思えません。今でも不思議な気持ちです。そのご報告とお礼のため、昨年の桜の頃両先生のお墓に伺い手を合わせました。お一人は法然院、もうお一方は竜馬の墓を斜めに見下ろして静かに眠っておられます。

一方、移転先である城巽地域の方々が、音楽を中心に据えた地域文化の向上を目標として、秋の音楽フェスティバル開催や水曜夜のコーラス活動などに取り組み、年々発展してきていることにも喜んでおります。人間の力って素晴らしいですね。

最後になりましたが、堀川高校同窓会の皆様、今後も「堀音」に対して変わらぬお力添えを賜りますようお願いしまして、お礼の言葉とさせていただきます。

高校55期卒
映画監督

小林達夫



映画「カントリーガール」 小林達夫監督に聞く

2010年7月6日、ニューヨークの映画祭「ニューフィルムメイカーズ NY」で京都を舞台にした1本の日本映画が上映されました。その名は「カントリーガール」。本作の監督は55期卒(人間探検科)の小林達夫さん(当時25才)で、映画祭のため現地にいられているとの情報を受け、ニューヨーク在住の堀川同窓会員が会場を訪ねました。55期卒の小林さんに21期卒の堀川同窓会員が映画祭の感想、作品の今後を聞きました。

事務局: このたびは「ニューフィルムメイカーズ NY」正式出品おめでとうございます。

小林: ありがとうございます。NYの会場でお会い出来て驚きました。遠く離れた場所での上映ですが、舞台の京都とのつながりを感じましたね。

事務局: 会場では大勢の方が見にいらしていました。数名の監督さんも見かけましたし、高校の先輩としてとても誇らしく嬉しく思いました。

小林: 同時期にNYでいくつか映画祭が開催されてまして、他の映画祭に参加している映画関係者の方々にも来ていただけて嬉しかったです。ただ初上映だったので落ち着かなかったですね。完成までに何度も見ているんですが、スクリーンで観客に見せるまでは自分でも映画の見え方は分からないモノと言うか…。観客が作る部分って本当に大きいんですよ。

事務局: 私が見受けた限りでは、上映中に観客から笑いが起こる部分もあったり、終了後も多くの人がロビーに残ったりしていましたよね。海外の観客にも映画がしっかり伝わっている熱気がありました。

小林: それは本当にありがたかったです。じかに接することでしか得られない経験ですので。NYでの一週間はとても充実していたと思います。

事務局: この映画は自主映画ということになるのですか？

小林: そうですね。長編映画としても初めての作品です。

事務局: 初めての長編作品がNYの映画祭に出品され、あの日が初上映だったとは、こちらとしても素晴らしい場に立ち会えた訳ですね。脚本が渡辺あやさん(※)とありましたが、この映画のアイディアは見る限り正に堀川高校生であった小林さんの実体験かと思ったのですが？また渡辺あやさんは今注目されている脚本家ですが、その方に依頼された経緯もお聞かせいただけますか？※脚本作に「ジョゼと虎と魚たち」、「天然コケッコー」など。近年はNHKドラマ「その街の子ども」、「火の魚」を手がける。

小林: 2007年に短編映画「少年と町」が京都国際学生映画祭でグランプリを受賞したことがきっかけで、渡辺あやさんと知り合いました。渡辺さんが僕の作品をとても理解してくださったこともあって次の構想を話したところ、興味もっていただいたのが経緯です。依頼した訳ではないんですよ、最初は自分で書くと思ってました。

この話は僕の実体験ではありませんが、

高校生のときから作りたいと思っていたネタも含まれていて、渡辺さんとの出会いによって初長編として制作する勇気が生まれたんです。

事務局: いくら自主映画と言ってもあれだけの本格的な映画ですから、若いフリーの監督にとっては凄い決断だったと思います。本当に良い出会いだった訳ですね。

小林: そうですね。あと舞妓役の女優以外は、主要キャストのほとんどが演技



未経験でした。高校生役は堀川高校の同窓生や、その兄弟、友人が出演しています。費用の問題だけでなく、本作のモチーフには京都で高校生活を送った人が必要不可欠だったので出演をお願いしました。演技に関しては狙い通りの自然な芝居が出来ていると思います。観客の方からも評判もいいですね。

事務局: えっ!! そうなんですか。堀川高校と本当に深い関わりがある映画と言えますね。益々堀川同窓生の皆様に鑑賞して欲しいです。でも自主映画ですが、一般にはどうすれば見ることが出来るの



でしょうか？

小林：来年（2011年）3月から京都シネマでの公開が決定しました。（取材時はまだ上映期間などは未定でしたので。）新聞やホームページなどをチェックしていただけるとありがたいです。

事務局：それは嬉しい情報ですね。ということは、日本での上映はこれが初めてですか？

小林：11月末に京都国際学生映画祭のオープニング企画で1回だけ上映されたのですが（写真左）立ち見が出るほど大勢の方に集まってもらえました。世界初上映がNYで、日本初上映が京都になります。ほとんどの映画が東京から公開をスタートさせるのが当たり前になってるのですが、本作は京都との縁が強く働いて公開が実現したので、3月からの京都公開では本当に盛り上げたいです。

その後の上映は未定ですが京都、国内、海外のそれぞれで「カントリーガール」が広がって行けばいいですね。

事務局：是非そうなることを願っています。NYでは私はアメリカ人、カザフスタン人、フランス人、日本人の数名の友人と見に行ったのですが、映画鑑賞後に映画館を出たとき、そこがマンハッタンの真ん中なのに京都に居る錯覚を覚えました。頭の中を京都弁が渦巻き、NYの景色が御

池通であったり、烏丸通の街路樹であったり、二条通りや堀川高校の周辺に思えてしかたなかったです。外国の友人達は特別な世界に住む舞妓さんが、高校生の日常の風景の中に存在している映像を、新鮮に受け取っていました。この映画で一番観客に伝えたかった所はどこでしょうか？

小林：映画やドラマの京都って行儀が良すぎたり、どこか記号的だったりすることが多いと思います。相当ベタに描かれてる気がするんですね。本作で心掛けたのは、徹底して「自分だけの京都」を見せることです。京都で生きることに対する安易な共感を映画を使って促すことは絶対にしなくなかった。京都に住む人の数だけ「自分だけの京都」像があって、それは映画に登場する京都の伝統に興味を持ってない高校生にだってあるはず。映画を通してかつての高校生だった自分の姿を思い出したり、「カントリーガール」とは違って、観客の方それぞれの「自

分だけの京都」を再発見してもらうことも出来ると思います。

事務局：今後も海外の映画祭に出品されると聞いています。益々のご発展とご活躍を同窓会員としても応援させていただきますと思っております。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

この映画の舞台の多くは、平成10年までの堀川高校の区域で撮影されている。頻りに映画の舞台になる京都だが、堀川高校生の生活区域が舞台になったのは初めてではないだろうか。堀川同窓会員として嬉しいもう一つの見所は、新しくなった堀川高校の校内が撮影されている所である。すっかり様変わりした堀川高校の校内を見学し、主人公の高校生と共に高校時代を思い出してみたいだろうか？

◎ 映画「カントリーガール」公式HP
<http://www.countrygirl-movie.com>

◎ 京都シネマ
<http://www.kyotocinema.jp>

— 2011年3月19日(土)～4月1日(金) 京都シネマ —

作品概要：伝統に興味のない男子高校生たちが、たまたま舞妓に恋に落ちたことからすれ違っていく青春映画。外国人観光客から金を騙し盗ること、街の大人たちとの関係、高校生活と京都の再開発計画。そのそれぞれがリアルに、ときに幻想的に描かれる。

京都シネマ：烏丸四条下ル西側コロン鳥丸3F

103回 堀川同窓会開催

日時：2011年4月16日（第3土曜日）1：00pm～

場所：京都国際ホテル

内容：1. 堀川賞授賞式

2. 梧桐マンドリンアンサンブル演奏（堀川高校マンドリンクラブOB有志）

3. 小宴

会費：1,000円

平成22年度卒業生は無料ご招待

申込：別紙FAX用紙又は電話にて3月28日までにお申し込みください。

*同窓会は毎年4月の第3土曜日に国際ホテルにて開催いたしております。

当同窓会終了後、各学年の同窓会を開催されますよう終了時間を夕方に定めております。どうぞ各学年の同窓生をお誘いいただきご出席くださいますようお願いいたします。



堀川高校マンドリンクラブ 創部50周年記念コンサート

2010年12月5日 京都市立京都堀川音楽高校のホールにて、OB会の梧桐マンドリンアンサンブル（酒井善治代表）と、堀川マンドリン合奏団（吉村良之団長）による合同演奏会が開催された。舞台の中央には紺地に堀川WHの校章と山吹色の英語で「MANDOLIN CLUB」と書かれた懐かしい旗が飾られていた。会場は補助席を出すほど満杯の観客であふれ、あちこちで同窓会が始まっていた。多くの観客が高校生に戻った熱気の中、演奏が始まる。最初の演奏は堀川生徒会歌。一瞬にして会場の心は驚掴みされ、胸に迫るマンドリンの演奏へとけ込んで行った。どの曲も懐かしく充実した演奏である。休憩後、永年マンドリンクラブの顧問を務め、未だにお

世話くださっている三宅宗純元堀川高等学校長に感謝の花束が贈呈された。そして2部へ、高校時代にも良く聞いた数多くの曲を懐かしく堪能し、最後にはまた堀川同窓会歌が演奏された。会場は「緑なすもり・・・」とマンドリン演奏に合わせ大合唱が始まった。100周年の時もそうだったが、生徒会歌はいつも万感迫る感動を引き起こしてくれる。創部50周年記念コンサートは大成功裏に終了した。

この演奏会をきっかけに、次回103回堀川同窓会に出演を依頼、快諾をいただいた。今回はOB会の梧桐会のメンバーに出演いただきます。50周年演奏会とはひと味違うイタリア歌曲や懐メロ、抒情歌などの曲が演奏される予定です。

堀川マンドリン合奏団 第39回定期演奏会 日時：2011年7月31日(日) 1時30分 開場 2時 開演 場所：国際交流会館

小椋佳 歌紡ぎの会

2/20 (日) 開場17:30
開演18:00

京都市立堀川音楽高等学校 城巽アリーナ

「小椋佳 歌紡ぎの会」を後援

京都市立京都堀川音楽高等学校が元城巽中学校跡地に移転し、音楽高校の施設「城巽アリーナ」の柿落しとして、「小椋佳 歌紡ぎの会」の公演が上記内容にて開催されます。

堀川音楽高校の校名の復活を同窓会として京都市に要望した経緯に加え、堀川高校創立100周年イベントに「小椋佳 歌壇の会」を開催し、堀川同窓会再構築に大にお力添えを頂いたこともあり、京都市教育委員会、京都市立京都堀川高等学校と共に「小椋佳 歌紡ぎの会」の後援をさせて頂きました。

新しい堀音の施設をご覧頂ける好機でもあり、お早めにお買い求めください。

尚、販売は御池通り堀川東入 京都堀川音楽高等学校事務局にて販売いたしております。

入場料：¥4,500 お問い合わせは：075-253-1581です。



- 主催：小椋佳歌紡ぎの会城巽実行委員会
- 後援：京都市教育委員会
京都市立京都堀川音楽高等学校
京都市立堀川高等学校同窓会
- チケットは、京都堀川音楽高等学校にて販売しております。
- お問合せ：小椋佳歌紡ぎの会城巽実行委員会
(075-221-0515宮崎)
nnnet@mbox.kyoto-inet.or.jp (中村)



救う会京都より



「娘めぐみと再会したい」切なる母の願いが胸に迫る。
横田早紀江
横田早紀江さんの拉致事件の真相を、多くの人が知る機会を得た。この本は、横田早紀江さんの切なる願いが胸に迫る。横田早紀江さんの切なる願いが胸に迫る。

横田めぐみさんの拉致事件から33年余り。長い年月が経過したにもかかわらず今だに未解決です。京都の救う会はそのメンバーの高齢化を嘆きながらも、日々活動を続けています。解決の見通しも無いまま、米田貞一郎校長先生（現101歳）を顧問として立ち上げて以来11年が過ぎようとしています。横田早紀江さんの同級生（6期卒）が中心となって会の運営をしていますが、全員75歳となってしまいました。

先日、事務局を一手に引き受け、一番元気であった村上恭史氏が不慮の事故でこの世を去られました。この悲しみは言葉に表わしがたく、ただひたすらご冥福をお祈りするばかりです。

私ども、救う会京都では、切なる願いとして一日も早い解決を念じつつ、会のメンバーの若返りをも願っています。現在17期卒と21期卒の2名の同窓会員に救う会会員としてお手伝いいただいています。同窓会員の皆様、是非とも救う会京都へのご協力、ご参加をお願いいたします。

連絡先：中村喜代治：TEL・FAX：0774-22-7076

下田富士子：TEL：075-241-1663・FAX：075-241-1667

横田早紀江さんは拉致事件の解決を切に念じ、この事件を風化させない為に闘い続けておられます。このたび、彼女の心情を「ブルーリボンの祈り」と言う題名の本で発表されました。

2010年度 第三回「堀川賞」募集

今年度エッセイタイトル

「飛翔」

対象者：2011年3月 堀川高等学校卒業生
締め切り：2011年3月22日
賞金：各10万円 優秀作品3部

堀川賞：100周年を記念して設立。毎年同窓会からエッセイのタイトルを決定し、その年度の卒業生を対象にエッセイを募集。優秀作品3部を選考。副賞は金10万円。受賞者は毎年開催される同窓会にて授与。受賞エッセイは同窓会ホームページに掲載。

事務局より

同窓会ホームページをご活用ください。

<http://www.horikawa-dosokai.jp/>

同窓会のホームページがリニューアルされました。同窓生の皆さんへ様々な情報を発信し、同窓会の情報を共有できるツールとして役立てていきたいと考えています。また同窓会からの一

方的な情報の流れだけでなく、同窓生からの情報を吸い上げる双方向の活用もできるようになりましたので、ぜひ一度アクセスしてご覧ください。



【堀川同窓会ホームページのトップ】

今回のリニューアルでは、同窓会の沿革や歩みはもちろんのこと、100周年の記念行事の写真なども多数閲覧でき、同窓会をより身近なものとして接していただけるよう工夫しました。また、各学年同窓会の情報やクラブOB会の情報交換にもご利用できるようになりました。学年同窓会の開催告知を始め、ホームページのある学年同窓会のリンクもあり、堀川の卒業生がここへアクセスすれば、自分の学年の同窓会情報を得られるよう充実させていきます。

また、住所変更などの手続きもホームページからできるようになりました。「お問い合わせ」のページでは、同窓生からの様々なお問い合わせに対応するとともに、住所変更なども受け付けますので、ぜひご活用ください。



【アーカイブ】同窓会報のバックナンバーを見ることができ、同窓会総会風景のスナップも沢山掲載されています。



【学年同窓会のページ】クラブOB会のページもありますので、掲載ご希望の場合はお問い合わせフォームからご連絡ください。



【お問い合わせフォーム】こちらに必要事項を記入して送信ボタンを押してお送りください。